

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



東京の産業と教育（電子版）

第 32 号 令和 4 年 3 月 23 日

東京都産業教育振興会事務局では、年 2 回発行している会報「東京の産業と教育」とは別に、この「東京の産業と教育（電子版）」を発行しています。

年度の最後の発行となる電子版 32 号をお届けいたします。昨年度試行を始めた 1 号から今回の 32 号までの間に発信できた会員情報は 91 件、紹介した会員校は 73 校を数え、高校・専修学校の半数以上の会員校情報を紹介することができました。会員の皆様の御理解と御協力に感謝申し上げます。

☆今日のコンテンツ—————☆

【1】「科学技術科」の学びを紹介します 1

【2】「科学技術科」の学びを紹介します 2

【3】アンケートへの協力をお願いします

【4】令和 4 年度の会報電子版発行は 5 月から 4 月は準備期間です

☆—————☆

【1】「科学技術科」の学びを紹介します 1 —————☆

「科学技術科」を設置した新しいタイプの進学型専門高校。科学技術教育を通じて、創造性、問題解決能力、コミュニケーション能力を養い、将来の科学技術者・研究者として工学系、理学系、農学系、薬学系、医療系などの分野で活躍できる人材の育成を目指しています。

HP の「ニュース」には「科技校 A to Z」というコンテンツがあり、HP の見どころをまとめて紹介しています。

[都立科学技術高校HPはこちらから](#)

【2】「科学技術科」の学びを紹介します 2 —————☆

理系大学進学を前提とした進学型専門高校です。将来、理学、工学、薬学、医療など様々な分野で科学技術者として活躍することを目指し、科学への視野を広め、基礎力と基礎学力を高める学習に力を入れています。

HP では、新着情報の「SSH 通信」や「ただいま活動中」等のニュースで日々の教育活動や生徒の活動を紹介しています。

[都立多摩科学技術高校HPはこちらから](#)

【3】アンケートへの協力をお願いします —————☆

本年度の第 1 号である会報電子版 11 号では、電子版の本格スタートにあたり、次のようにその目的を説明いたしました。

=====

1 会員の最新情報を交流したい

会報「東京の産業と教育」を年2回発行することに加え、最新の情報を定期的に共有できるように「会報電子版」を発信することにしました。

2 都産振の特性を生かした交流をしたい

都産振の特性は異なる学校種の学校と産業界を会員としてのことです。しかし、今のようなコロナ禍ではその特性を生かしきれずにいます。交流不足を少しでも改善できるよう情報の発信の場を作りました。

3 都産振もDXの流れを受け情報交流を進めたい

会報電子版は、会員ホームページの発信情報を紹介し、リンクをはるというものです。原稿を新たに執筆してもらうことなく情報の交流ができます。

=====

御多用中とは存じますが、別添のアンケートに御回答いただけますようよろしくお願いいたします。

回答は、本メールへの返信にてお願いします。(期限は3月31日とさせていただきます。)

【4】令和4年度の会報電子版発行は5月から 4月は準備期間です

事務局では、年度初めに会員の皆様の連絡先等の確認を郵送でお願いする準備を進めております。会報電子版の発行もそれらの集約ができてからとなりますので、5月からの発行に御理解くださいますようお願いいたします。

なお、情報の提供については、4月初頭から受け付けております。5月の情報発信に間に合うようどうぞよろしくお願いいたします。



東京都産業教育振興会 事務局

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247

E-mail: Osamu_Namiki@member.metro.tokyo.jp
